クイックスタートガイド

JP



500 SERIES COMPRESSOR LIMITER 522

500 Series Compressor/Limiter with Dynamic Presence Control

V 1.0

MIDAS

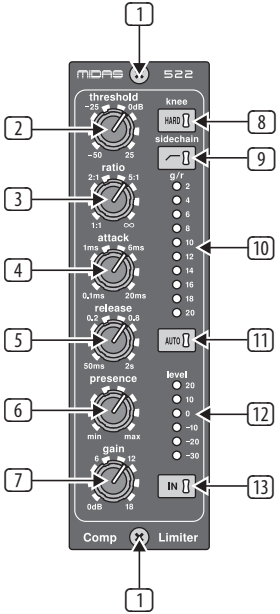
JP 安全指示

1. これらの指示をお読みください。
2. これらの指示を守ってください。
3. すべての警告に注意してください。
4. すべての指示に従ってください。
5. この装置を水の近くで使用しないでください。
6. 乾いた布でのみ拭いてください。
7. 換気口をふさがないでください。製造元の指示に従ってインストールしてください。
8. ラジエーター、ヒートレジスター、ストーブ、または熱を発生するその他の装置 (アンプを含む) などの熱源の近くに設置しないでください。
9. 製造元が指定したアタッチメント/アクセサリのみを使用してください。
10.  製造元が指定した、または装置と一緒に販売されたカート、スタンド、三脚、ブラケット、またはテーブルでのみ使用してください。カートを使用する場合は、カートと装置の組み合わせを移動するときに、転倒による怪我を防ぐように注意してください。
11.  この製品の正しい廃棄: この記号は、WEEE 指令 (2012/19 / EU) および国内法に従って、この製品を家庭ごみと一緒に廃棄してはならないことを示しています。この製品は、廃電気電子機器 (EEE) のリサイクルを許可された収集センターに持ち込む必要があります。
この種の廃棄物の取り扱いを誤ると、一般に EEE に関連する潜在的に危険な物質が原因で、環境と人間の健康に悪影響を与える可能性があります。同時に、この製品の正しい廃棄にご協力いただくことで、天然資源の効率的な利用に貢献します。廃棄物をリサイクルする場所の詳細については、最寄りの市役所または家庭ごみ収集サービスにお問い合わせください。
12. 本棚などの狭い場所には設置しないでください。
13. 火のともったろうそくなどの裸火源を装置の上に置かないでください。

JP

JP

コントロール



1 **Mounting holes** - 522 モジュールは、Midas Legend L6 や L10 などのホスト 500 シリーズラックシャーシまたはボックスに取り付けられ、上下の 2 本のネジを使用して固定されます。

2 **Threshold control** - このノブは、コンプレッサーの動作点を調整します。このポイントを超える (「しきい値を超える」) 信号は、コンプレッサーの動作の影響を受けます。しきい値を下回っている信号は、圧縮をトリガーしません。ただし、以前のオーバースレッショルド信号からの圧縮リリースの影響を受ける可能性があります。

3 **Ratio control** - 圧縮率ノブは、しきい値を超える信号に適用される圧縮の量を制御します。これは、入力から出力への信号レベルの変化の比率として表されます。たとえば、コンプレッサーが 2:1 に設定されている場合、2 dB の入力レベルの変化ごとに 1 dB の出力レベルの変化しか生成されません (信号レベルがしきい値を超えていると仮定)。

4 **Attack control** - このノブは、コンプレッサーがオーバースレッショルド信号に応答するのにかかる時間を調整します。

5 **Release control** - このノブは、プログラム素材がしきい値を下回った後、コンプレッサーが回復するのにかかる時間を調整します。攻撃とリリースの両方が、しきい値を超えたままのプログラムレベルの変更にも応答します。たとえば、レベルが低下してもしきい値を超えたままの信号はリリースをトリガーしますが、この場合は部分的なリリースにすぎません。コンプレッサーはゲインリダクションを生成する必要があるためですが、現在は、新しい低い信号レベル。

6 **Presence control** -制御が最小に設定されている場合、コンプレッサーはフラットな周波数応答で動作します。コントロールを時計回りに回すと、圧縮中に中高域がますますブーストされます。プレゼンス機能は、圧縮中に中高周波数を保護することができます。これは段階的に行われるため、コンプレッサーは 2 つの異なる比率で動作しているように見えます。1 つは低周波数 (通常) 用で、もう1つは中高周波数 (減少した比率) 用です。これの主な効果は次のとおりです。

- プログラムが不自然に聞こえることなく、重い圧縮と動的制御を適用できます。耳が最も敏感なプレゼンス帯域での圧縮の減少は、低周波数および非常に高い周波数の信号に適用される動的制御をマスクします。
- 圧縮された素材は明るく聞こえます。ただし、圧縮が不要な場合は高周波ゲインが追加されないため、静かな通過時のノイズが低減され、高周波ハウラウンドの傾向 (従来の EQ ポスト圧縮によって空気の明るさが追加された場合に問題になることがよくあります) も発生します。削減。

7 **Gain control** -このノブは、最大 18 dB の「メイクアップ」ゲインの調整を提供するため、必要に応じて、発信圧縮信号のレベルを着信非圧縮信号に一致させることができます。

コントロール

8 **Hard Knee switch** - ほとんどのコンプレッションはソフトニーモードでより自然に聞こえるので、これがデフォルト設定です (スイッチアウト)。ソフトニーコンプレッションは、しきい値をはるかに下回る信号が圧縮の影響を受けないように、しきい値を超える信号としきい値を下回る信号の区別を曖昧にし、しきい値に近い信号は圧縮されますが、比率が大幅に低下します。信号がしきい値をわずかに超えている場合でも、コンプレッサーの比率はいくらか低下し、信号がしきい値をはるかに超えた場合にのみ、完全な比率の圧縮が適用されます。ソフトニーキャラクターは、エンベロープの生成後に生成されるため、エンベロープの形状も変更され、通常、膝の領域にあるときのプログラムへの攻撃が遅くなります。この効果は、ゲインリダクションエレメントの非線形性のためにソフトニー特性を示す多くのビンテージコンプレッサーに似ています。HARD Knee がアクティブになると、コンプレッサーはより臨床的な方法で動作し、しきい値未満としきい値超過の間の遷移がより明確になります。これは、スタイルの圧縮を制限するのに適しています。このモードでは、サウンドを適度に自然に保つために、少量のソフトニーが保持されます。スイッチの赤い LED が点灯して、HARD ニーがアクティブであることを示します。

9 **Side chain high pass filter switch** - これを選択すると、200 Hz のハイパスフィルターがコンプレッサーのサイドチェーンに挿入され、低周波数の信号が圧縮を支配するのを防ぎ、高周波数での望ましくないポンピング効果を防ぐのに役立ちます。スイッチの緑色の LED が点灯して、サイドチェーンのハイパスフィルターがアクティブであることを示します。

10 **Gain reduction meter (g/r)** - ゲインリダクションメーターは、コンプレッサーによって適用されている減衰量を示します。10 セグメント LED メーターは、2 dB から 20 dB まで 2 dB ステップで読み取ります。

11 **Auto switch** - デフォルトでは、オペレーターはアタックとリリースのコントロールを使用してコンプレッサーの手動アタックとリリースの時定数を調整でき、コンプレッサーは線形のアタックカーブを持つピークモードで動作します。AUTO スイッチを選択すると、手動のアタックとリリースのコントロールがバイパスされ、コンプレッサーは RMS モードで動作し、プログラムの素材としきい値/比率の設定に応じてアタックとリリースを自動的に設定します。スイッチの緑色の LED が点灯して、AUTO モードがアクティブであることを示します。

12 **Level meter** - このメーターは出力信号レベルを示します。6 セグメント LED メーターは、-30 dBu から + 20 dBu まで 10 dB ステップで読み取ります。

13 **Compressor IN switch** - このスイッチは、コンプレッサーを信号経路に挿入します。スイッチの黄色の LED が点灯して、コンプレッサーがアクティブであることを示します。IN スイッチの選択を解除すると、すべての回路が完全にバイパスされます (真のリレーハードウェアバイパス)。信号がラック入力 XLR からラック出力 XLR に直接渡されるため、500 シリーズラックの電源がオフの場合にも真のバイパスモードが発生します。

はじめに

1 522 モジュールは、Midas Legend L6 や L10 などの 500 シリーズラックシャーシまたはボックスに取り付けるように設計されています。L6 / L10 は、522 モジュールへの入力接続と出力接続、およびモジュールを実行するための内部電源を供給します。

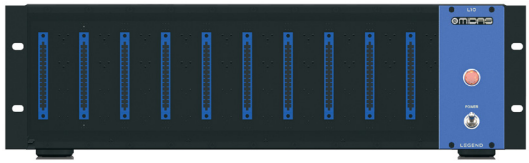
2 L6 / L10 の電源をオフにした状態で、522 モジュールを慎重にスライドさせて取り付け、背面コネクタが L6 / L10 の対応するマルチピンコネクタに正しく収まるようにします。2 本のネジを使用して、522 モジュールをフロントの上部レールと下部レールに固定します。

3 L6 または L10 の空白スペースは、Midas L1B ブランクプレートを使用して埋めることができます。これらのプレートは、汚れ、ほこり、その他の物体がユニットに入るのを防ぎます。

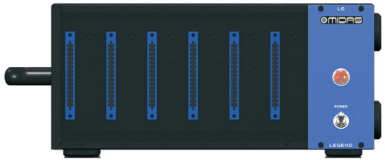
4 システムに他のモジュールを挿入します。

5 オーディオ機器を L6 / L10 の入力と出力に接続します。

6 L6 / L10 の電源を入れます。522 モジュールには、内部電源オン/オフミュートリレーが装備されています。電源投入後、電源投入時の衝撃を避けるために、出力が接続されるまでに 2 秒の遅延があります。リレーはまた、パワーダウン中に出力をミュートすることにより、パワーオフの衝撃を防ぎます。



Legend L10500 シリーズラックマウントシャーシ (10 モジュール用)



Legend L6 500 シリーズ 6 モジュール用ラックマウントシャーシ
(付属のラックイヤーキットは表示されていません)

技術仕様

コントロール	
しきい値	-50 dBu ～ ＋25 dBu ノブ
比率	1:1 から ∞ノブ
攻撃	0.1 ms から 20 ms のノブ
リリース	50 ms から 2 秒のノブ
プレゼンス	最小から最大のノブ
メイクアップゲイン	0 dB～+18 dB ノブ
ハードニー/ソフトニー	スイッチ
サイドチェーンハイパスフィルター	スイッチ
自動攻撃と解放	スイッチ
のコンプレッサー	スイッチ
入出力	
入力	モノラル、バランスライン
出力	モノラル、電子的にバランスが取れている
システム	
ユニティゲインでのノイズ	-95 dBu (22 Hz-22 kHz)
CMRR、ユニティゲイン、1 kHz	-70 dB (標準)
入力インピーダンス、1 kHz	20 kΩ
周波数応答、ユニティゲイン	20 Hz ～ 20 kHz、±0.5 dB
歪み、ユニティゲイン、1 kHz	
0 dBu	<0.01%
+10 dBu	<0.1%
+20 dBu	<0.5%
最大入力レベル、1 kHz	+21 dBu
最大出力レベル、1kHz	+21 dBu
出力インピーダンス、1 kHz	50 Ω
しきい値範囲	-50 dBu～+25 dBu ノブ
比率	1:1 から ∞
攻撃	0.1 ミリ秒から 20 ミリ秒
リリース	50 ミリ秒から 2 秒
プレゼンス	最小 (フラット) から最大 (通常、ゲインリダクション中はソース信号レベルより -3 dB 低い)
プレゼンス中心周波数	5 kHz、帯域幅は通常 4 オクターブ
メイクアップゲイン	0 dB～+18 dB
ゲインリダクションメーター	10 セグメント、2 dB ステップで 2 dB～20 dB
出力レベルメーター	6 セグメント、10 dB ステップで -30 dBu～＋20 dBu
サイドチェーンハイパスフィルター	200 Hz、オクターブあたり 12 dB
電力要件	
電圧	＋16 V および -16 V
消費電力	130 mA, 4.2 W
物理的	
寸法 (H x W x D)	132 x 38 x 174 mm (5.2 x 1.5 x 6.9")
重量	0.6 kg (1.3 ポンド)

モジュールコネクタのピン配列

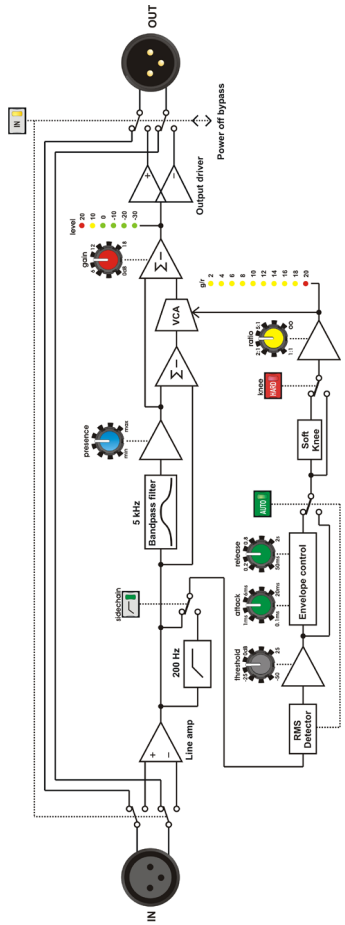
ピン番号	説明
1	シャーシ GND
2	出力 + (ホット)
3	該当なし
4	出力– (コールド)
5	オーディオ GND
6	該当なし
7	該当なし
8	入力– (コールド)
9	該当なし
10	入力 + (ホット)
11	該当なし
12	PSU +16 V
13	PSU GND (0 V)
14	PSU –16 V
15	該当なし

ノート

L6 および L10 ラックマウントシャーシの XLR 接続は配線されています
ピン 1 = オーディオ GND、ピン 2 = +(ホット)、ピン 3 –(コールド)

JP

ブロック図



その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択: ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

2. 故障: Music Tribe ディーラーがお客様のお近くにないときは、musictribe.com の "Support" 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お 客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の "Support" 内にある "Online Support" でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。

3. 電源接続: 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。